

富山県感染症発生動向速報

(2026 年第 39 週分・9 月 21 日～9 月 27 日)

■今週の主な動向

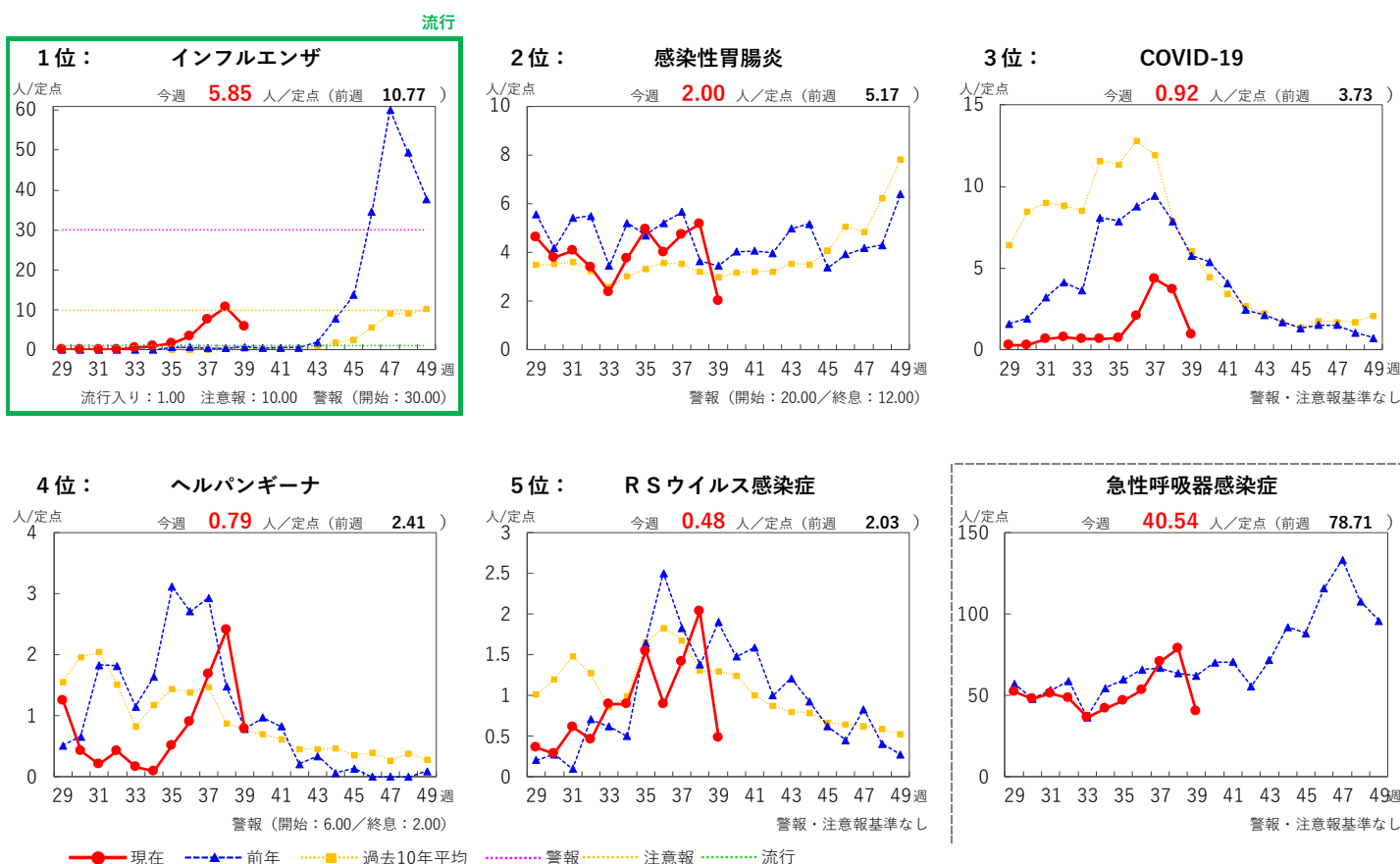
○各定点報告の感染症は先週から概ね減少しました。大型連休中の定点医療機関の休診により、流行を過小評価している可能性があります。

○インフルエンザの報告数は減少しましたが、流行は継続しています。

県内の患者報告数は 5.85 人/定点となり、先週 (10.77) から減少しました。しかし、[入院サーベイランス](#)では今週 26 例が報告され、先週 (6 例) から急増しています。今週報告された患者の約 9 割は A 型であり、A 型を中心とした流行が継続しています。引き続き、ワクチン接種を含めた感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、今週のインフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 39 週・9/21～9/27)

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 2 件 (①20 歳代、男性 ②70 歳代、男性)

四類感染症 レジオネラ症 2 件 (①②共に 70 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 急性脳炎 1 件 (10 歳代、女性)





早くも注意報レベル！ インフルエンザ

《 インフォメーション 》

●インフルエンザ

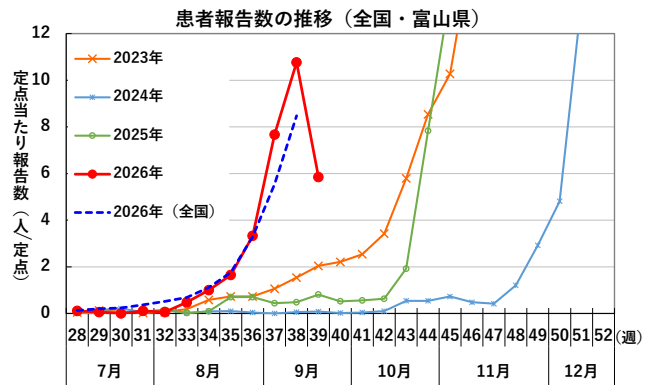
インフルエンザは季節性があり、例年冬季から春季にかけて流行します。流行時期に合わせ、毎年第 36 週（8 月末～9 月初旬）から翌年の第 35 週までの 1 年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。

全国のインフルエンザ報告数は、第 34 週に流行入りの目安である 1.0 人/定点を上回り、第 38 週に 8.48 人/定点となりました（図、青点線）。

富山県では、第 35 週に流行入りして以降、患者報告数が急増しています。先週、10.77 人/定点となり、昨シーズンより 7 週間早く注意報レベルの基準を超えました（[9 月 25 日報道発表](#)）。今週は 5.85 人/定点と先週より減少したものの、大型連休による定点医療機関の休診の影響で、流行状況を過小評価している可能性があります（図、赤線）。定点医療機関における迅速診断キットによるウイルス検出状況は、A 型が 90%を占めています。患者は小児から成人にかけて報告されています。また、学級閉鎖等の報告もみられることから（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）、学校等での感染拡大や成人への感染の波及が懸念されます。特に、県内 5 か所の基幹定点医療機関から報告される入院患者数は先週 6 例から今週 26 例へ増加していることから、重症例の発生に注意が必要です（[インフルエンザ入院サーバランス](#)）。

インフルエンザウイルスの主な感染経路は飛沫、接触感染です。感染予防および感染拡大防止のため、手洗い・換気・適切なマスク着用等の予防対策を心がけましょう。特に高齢者など重症化リスクの高い方と会う際にはマスクの着用が重要です。また、発熱や咳等の症状がある場合は無理をせず、登園や通学、出勤、外出を控えるようにしましょう。

インフルエンザワクチンはインフルエンザの発症をある程度予防し、重症化や入院のリスクを低減する効果があります。日本ワクチン学会は、生後 6 か月以上のすべての人への接種を推奨しており、特に高齢者、乳幼児、妊婦、基礎疾患のある方への接種が重要としています（[2026-27 期の季節性インフルエンザワクチンの接種に関する日本ワクチン学会の見解](#)）。65 歳以上の方や 60～64 歳で一定の基礎疾患がある方は、市町村が実施する「定期予防接種」の対象者となり、接種費用の一部が助成されます。制度の内容等についてはお住まいの市町村の HP 等をご参照ください。市町村の助成事業は概ね 10 月から開始されます。ワクチンは接種後、十分な効果が得られるまでに 2 週間程度かかるため、かかりつけ医等にご相談のうえ、接種をご検討ください。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第39週 2026年9月21日～2026年9月27日）

分類	疾患	今週報告分（第39週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				2	2	5	3	18	10	44	80	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				2	2	5	1	7	6	26	45	
	三類感染症	細菌性赤痢								1		1	2	
		腸管出血性大腸菌感染症							3	1	8	3	13	28
	四類感染症	E型肝炎							1		1		1	3
		デング熱											1	1
		マラリア											2	2
		レジオネラ症					2	2	1	3	11	4	19	38
	五類感染症	急性脳炎			1			1	2		1		4	7
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	1	6	10
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		5	7
		侵襲性髄膜炎菌感染症										1		1
		侵襲性肺炎球菌感染症							3		7	2	5	17
		水痘（入院例）							1	2	2		4	9
		多剤耐性緑膿菌感染症											1	1
		梅毒							5	2	10	3	15	35
		破傷風											1	1
		百日咳							1				7	8
		麻しん									4		4	8
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	248	159	623	189	727	1,946	10,957	10,022	38,761	10,733	48,491	118,964
			35.43	31.80	47.92	27.00	45.44	40.54						
		インフルエンザ	70	15	75	37	84	281	1,622	1,268	3,824	1,572	5,324	13,610
			10.00	3.00	5.77	5.29	5.25	5.85						
	小児科定点（29定点）	COVID-19	10		19	7	8	44	357	154	703	282	627	2,123
			1.43		1.46	1.00	0.50	0.92						
		RSウイルス感染症	1	1	3	3	6	14	33	13	280	76	200	602
			0.25	0.33	0.38	0.75	0.60	0.48						
		咽頭結膜熱			3			3	38	23	273	2	86	422
					0.38			0.10						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		6		1	8	162	210	1,460	230	1,391	3,453
			0.25		0.75		0.10	0.28						
		感染性胃腸炎	13	8	4	4	29	58	876	723	1,173	320	4,355	7,447
			3.25	2.67	0.50	1.00	2.90	2.00						
		水痘			5		2	7	4	17	68	12	123	224
					0.63		0.20	0.24						
		手足口病	1		6		1	8	48	187	782	123	1,061	2,201
			0.25		0.75		0.10	0.28						
		伝染性紅斑							8	3	26	11	13	61
突発性発しん			1			1	2	7	28	123	27	136	321	
			0.33			0.10	0.07							
ヘルパンギーナ			6	10		7	23	18	91	156	20	205	490	
			2.00	1.25		0.70	0.79							
流行性耳下腺炎							3	1	5	4	10	23		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎							12	6	18	16		52	
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											2	2	
	無菌性髄膜炎							2					2	
	マイコプラズマ肺炎			2		2	10		6	5	7	28		
				2.00		0.40								
入院サーベイランス（5定点）	クラミジア肺炎										2		2	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2	1		3	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	9	2	5	2	8	26	11	3	10	4	14	42	
	COVID-19による入院患者			1		1	2	27	19	8	12	66	132	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2026年第36週（8/31～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

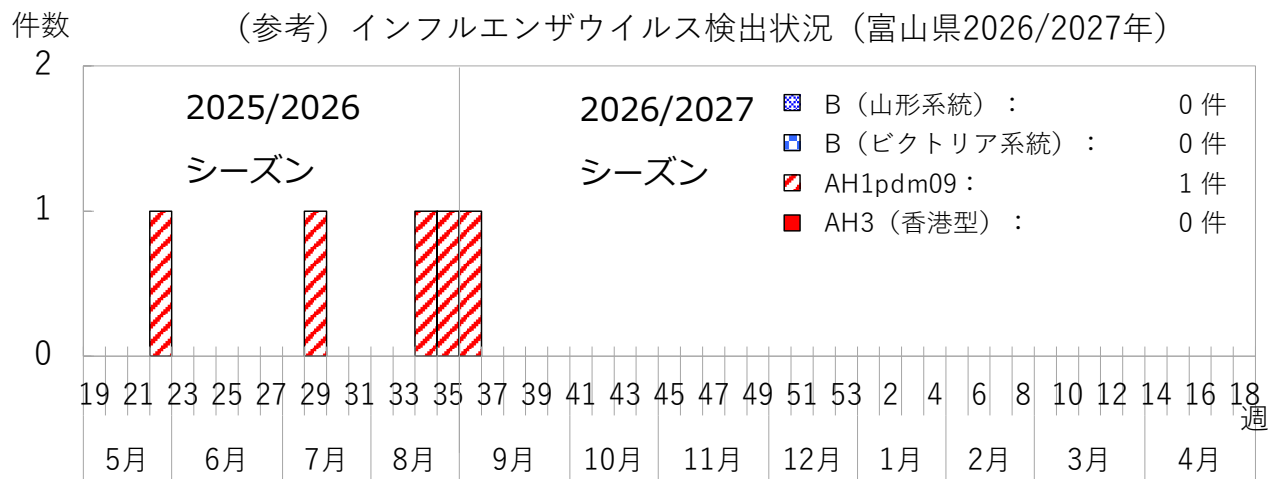
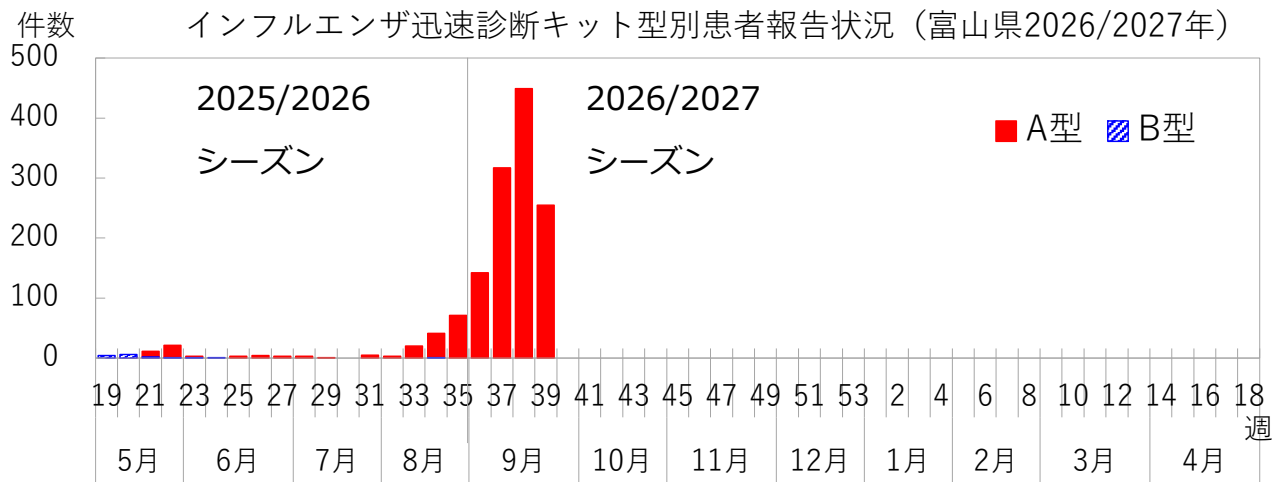
現在、下の表によると、A型が90.7%となっています。

第39週（9/21～9/27）：富山県 5.85人/定点（単位：件）

厚生センター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	66	0	4	70
中部	5 / 5	11	0	4	15
高岡	13 / 13	66	0	9	75
砺波	7 / 7	36	0	1	37
富山市	15 / 16	76	0	8	84
富山県	46 / 48※1	255	0	26	281
富山県累計（2026年36週～）		1,163	0	163	1,326

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が46か所あったことを示します。

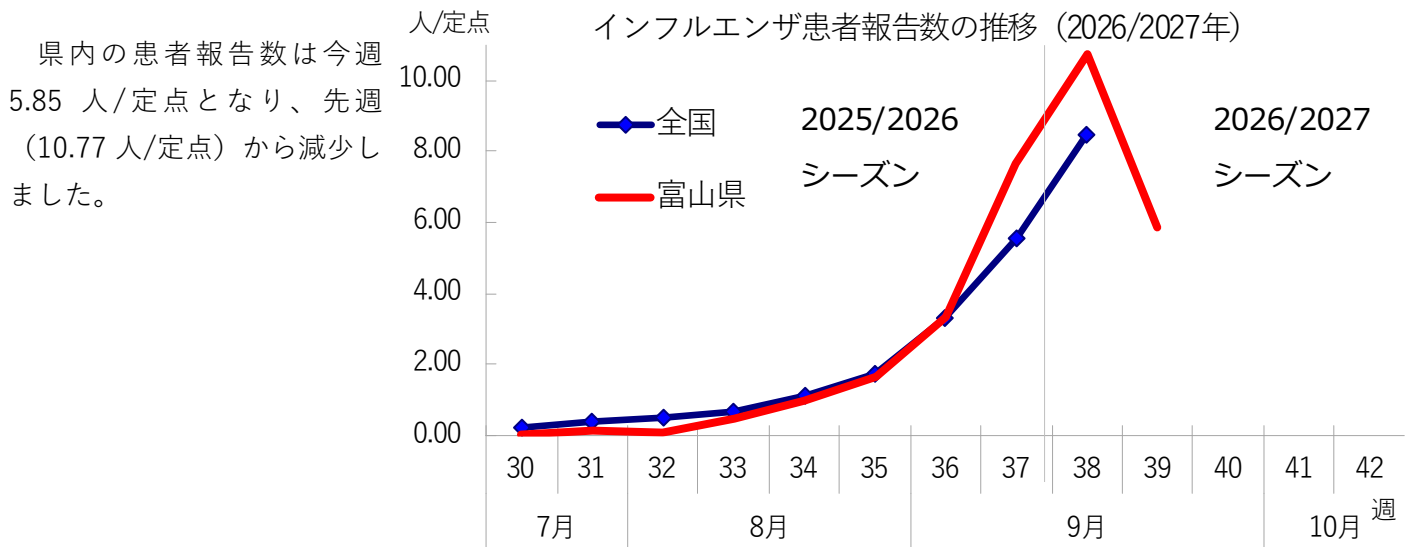
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 39 週（9/21～9/27）

富山県 5.85 人/定点 [新川（10.00）、中部（3.00）、高岡（5.77）、砺波（5.29）、富山市（5.25）]

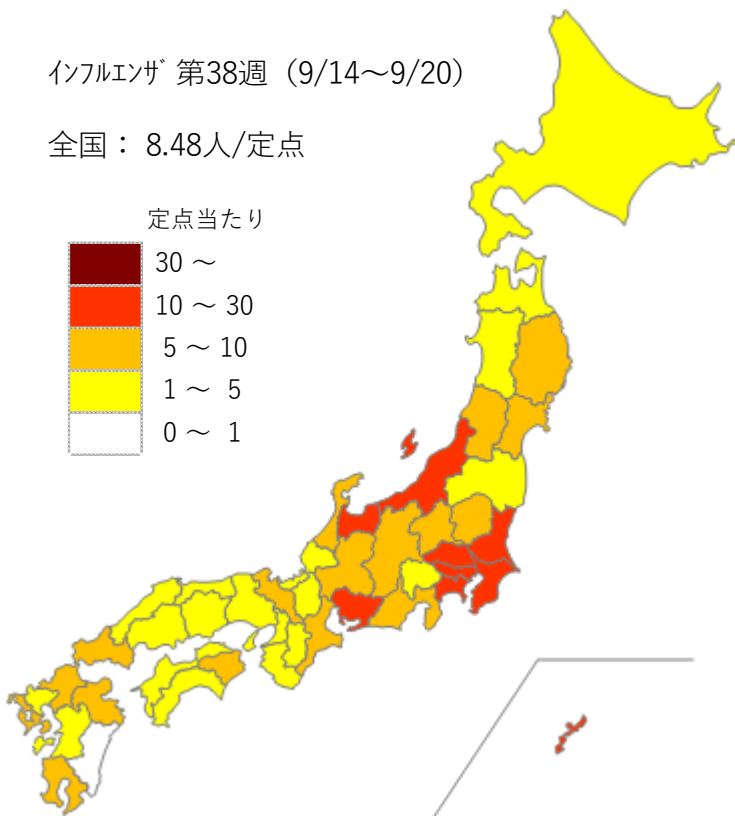
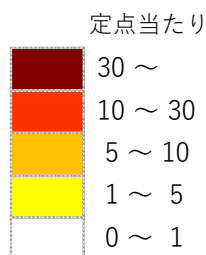


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 38 週（9/14～9/20）

全国患者報告数は、定点医療機関あたり 8.48 人となり、前週の 5.54 人より増加しました。44 都道府県で前週より増加しています。3 県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第38週（9/14～9/20）

全国：8.48人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	4.18 ↑	滋賀県	2.79 ↑
青森県	4.42 ↑	京都府	5.64 ↑
岩手県	5.32 ↑	大阪府	4.05 ↑
宮城県	7.87 ↑	兵庫県	4.30 ↑
秋田県	4.48 ↑	奈良県	3.17 ↑
山形県	7.15 ↑	和歌山県	2.87 ↑
福島県	4.38 ↑	鳥取県	4.86 ↑
茨城県	13.47 ↑	島根県	3.20 ↓
栃木県	5.60 ↑	岡山県	1.40 ↑
群馬県	6.36 ↑	広島県	2.67 ↑
埼玉県	13.56 ↑	山口県	5.13 ↓
千葉県	14.36 ↑	徳島県	5.67 ↑
東京都	15.21 ↑	香川県	2.74 ↑
神奈川県	14.71 ↑	愛媛県	4.55 ↑
新潟県	10.16 ↑	高知県	3.08 ↑
富山県	10.77 ↑	福岡県	5.34 ↑
石川県	5.66 ↑	佐賀県	4.21 ↑
福井県	3.00 ↑	長崎県	7.72 ↑
山梨県	4.00 ↑	熊本県	3.38 ↑
長野県	6.73 ↑	大分県	5.93 ↑
岐阜県	5.67 ↑	宮崎県	0.71 ↓
静岡県	8.94 ↑	鹿児島県	6.39 ↑
愛知県	15.12 ↑	沖縄県	26.27 ↑
三重県	6.53 ↑	全国	8.48 ↑

